

<p>事業評価委員会 (第3者委員会) 評価(総括)</p>	<p>1. 経営発達支援事業(伴走型支援) 目標1 個別企業の経営力向上支援と需要開拓支援の強化 (1) 持続化補助金、経営革新計画、ものづくり補助金等への支援、商談会等販路開拓支援を通じて商工会活用事業所が増加(相談件数の増加) (2) 経営計画の作成支援による業績向上等(経常収益、雇用の増加等) 42事業所 (目標達成) (3) 新たな需要を開拓できた小規模事業者(商談会等支援の効果) 14事業所 (目標達成) (商談会成約件数 延12件) (4) マル経融資制度の推進 13件 (目標未達) (5) 創業・事業承継等支援、販路開拓支援に関して金融機関との連携を強化 創業支援2事業所、事業承継支援2事業所</p>
<p>I 事業総括</p>	<p>2. 地域経済の活性化に資する取り組み 目標2 観光と物産振興に関する戦略立案と実行する仕組み作りの推進・連携の促進 (1) 輝振興連絡調整会議による観光と物産振興に関する意見交換(年3回開催)と連携の強化 (2) 観光イベントのあり方検討と仕組み作りの推進(観光イベント実行委員会) (3) 八幡平市版DMOへの協力(外国人観光客受入セミナー、インバウンドおもてなしセミナーへの参加) (4) 大更駅前商店街再編に係る人材育成の推進(八幡平市の玄関口である大更駅前整備開発への対応と提案) (5) 料理界のプロが八幡平市の食材を活用した料理を提案(食の交流会)</p> <p>3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み (1) 各種研修会参加による支援ノウハウの強化(人材育成) 経営指導員以外の職員も積極的に研修に参加することにより支援ノウハウを修得 (2) 支援方法の体系化が徐々に進展(支援ノウハウの共有化)</p>
<p>II 意見</p>	<p>1 経営分析、計画策定支援、策定後支援、新たな需要の開拓など、それぞれの計画内容に沿って実施されており、多くの項目で目標を達成している。 2 経営革新計画の支援が2件実施されているが、認定実績ゼロはやむを得ない結果と考えられる。事業者への支援を継続していただきたい。また、持続化補助金支援では申請件数を目標とする定量評価であるためC評価となったが、採択率では前年度を上回り会員の期待に十分に届いたのではないかと。小規模事業者経営発達支援融資制度の活用は、地域ニーズとのズレがあることは否めない。情報提供に努められたい。 3 観光と物産振興の面で八幡平市と連携した取り組みが積極的に行われているが、八幡平市版DMOがどのような活動をしているのか見えてこないため実績を積み上げていただきたい。 4 人事異動があっても支援が継続される状況を念頭に置き、支援ノウハウの共有・蓄積など支援力の向上に取り組んでいただきたい。</p>
<p>最終年度の取り組み</p>	<p>最終年度(5年目)の取り組みについて 商工会の取り組みが地域経済の活性化に貢献することが期待される場合でも、自治体の関与や支援が相応に及ばない現状があると指摘されているので、市と商工会の連携による経営発達支援計画策定が重要となる。併せて、八幡平市が中小・小規模事業者振興に関する条例を制定し、小規模事業者支援を明確に位置づけ、効果的な支援を行うことが重要と思われる。 本計画では目標の明確化及び進捗状況の確認を可能とするために経営発達支援事業の目標を定量化しているが、第2期計画の検討にあたり支援の実績とその効果をどう捉えるかが課題となるので、重点的な取り組み内容や指標の見直しに取り組まれることを期待する。</p>

平成30年度（4年目）経営発達支援計画の実施内容（内部評価シート）

実施者名	八幡平市商工会		
実施期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日（5ヵ年）		
目 標	<p>八幡平市は、自然景観・温泉・スキー場などの質の高さを誇る全国有数の観光地であるとともに地域特性を活かした農畜産物も豊かな地域であるが、急速に進展する少子高齢化や人口減少の進展等により小規模事業者の廃業が目立っているため、</p> <p>八幡平市商工会は</p> <p>目標 1. 小規模事業者支援機関としての役割を踏まえ、個別企業の経営力向上支援、需要開拓支援を強化します（伴走型支援の強化）</p> <p>目標 2. 総合的経済団体としての役割を踏まえ、地域の活性化に資する取り組みとして観光と物産振興に関する戦略立案と実行する仕組み作りを推進します</p>		
評価規準	評価基準は <ul style="list-style-type: none"> ・ A → 実施され効果（活用）が見られたもの、もしくは期待できるもの ・ B → 実施されたが効果（活用）があまり見られない、もしくは不明のもの ・ C → 実施されたが、回数・件数が目標を下回っているもの ・ D → 実施されなかったもしくは、実施されたがほとんど達成することができなかった 	※数値目標に対する達成率が100%以上 ※数値目標を概ね達成（80%～99%） ※数値目標の半分程度（30%～79%） ※数値目標（30%未満）	
目標と実績	平成30年度目標	平成30年度実施内容（実績）	評 価
	<p>1. 経営発達支援事業</p> <p>目標 1. 個別企業の経営力向上支援と需要開拓支援の強化</p> <p><u>指針① 小規模事業者の経営状況の分析に関すること（経営分析）</u> （具体的目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①簡易経営診断件数 年 60件（5年後の累計 300件） <ul style="list-style-type: none"> ・ 決算データを基にした経営分析 30件 ・ ヒアリングやアンケートを基にした経営分析 30件 ②事業計画策定に関する経営分析件数 年 43件 <p><u>指針② 事業計画策定支援に関すること</u> （具体的目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①掘り起しセミナー等開催回数（経営革新、創業・事業承継）年 5回以上 ②経営革新計画認定事業所 年 5件以上 ③持続化補助金支援事業所 年 19件以上 ④小規模事業者経営発達支援融資制度の活用支援 年 1件以上 ⑤創業（事業承継）支援者数 年 5件（3件）以上 ⑥マル経あっせん事業所数 年 14件以上 ⑦計画実施支援数（フォローアップ）45事業所年 延べ 78件以上 	<p>○目標に対する実績</p> <p>①簡易経営診断件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営データ把握数 450事業所分（決算指導・労働保険重複あり） ・ 決算データを基にした経営分析 232件 ・ ヒアリングやアンケートによる経営分析 33件 <p>②事業計画策定支援件数 34件</p> <p style="padding-left: 20px;">内事業計画策定に関する経営分析件数 29件</p> <p>○目標に対する実績</p> <p>①セミナー開催（専門家活用） （集団指導 4回、個別指導 6回 計 10回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ②経営革新計画策定支援件数 2件（内認定件数 0件） ③持続化補助金支援事業所 9件（内採択 7件） <ul style="list-style-type: none"> ・ ものづくり補助金支援事業所 1件 ④小規模事業者経営発達支援融資制度の活用支援 0件 ⑤創業（事業承継）支援者数 4件 ⑥マル経あっせん事業所数 13件 ⑦計画実施支援数（フォローアップ）34事業所 延べ 172回 	<p>評 価</p> <p>理由</p> <p>A 目標値達成 経営上の課題を把握</p> <p>A 目標値達成</p> <p>C 67%（目標未達）</p> <p>A 回数 100%（目標件数達成）</p> <p>D 認定ゼロ 目標件数未達</p> <p>C 支援事業所数 47%</p> <p>目標未達だが採択率高い 支援効果あり</p> <p>D あっせん件数 0</p> <p>B 目標件数に対し 80%</p> <p>B 目標件数に対し 92%</p> <p>C 目標事業所件数に対し 76%</p>

	<p>指針③ 地域の経済動向調査、需要動向調査</p> <p>(具体的目標)</p> <p>①地域内景況調査・分析 調査対象 50 事業者 年 2 回以上 ②消費動向及び観光に関する調査・分析 年 1 回以上 ③専門家による分析結果の情報提供及び活用 年 2 回以上 ④観光戦略会議 年 2 回</p> <p>指針④ 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること</p> <p>(具体的目標)</p> <p>①展示会・商談会開催回数 年 2 回 ②バイヤーによる個別指導等回数 年 2 回 ③広報紙・HPの充実 年 6 回以上 ④IT・マスメディアの活用 年 5 回以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・IT 導入補助金申請支援 2 件 ・先端設備導入計画申請支援 1 件 <p>○目標に対する実績</p> <p>①地域内景況調査・分析 ・県内小規模事業者景況調査結果の情報提供 (県連会報の配布年 4 回)</p> <p>②消費動向及び観光に関する調査・分析 ・グルメスタンプラリーアンケート調査 1 回</p> <p>③専門家による分析結果の情報提供及び活用 専門家分析資料 2 件 バイヤー分析資料 2 件 商談会アンケート 3 件 その他(東京リサーチ) 1 件 ・カイハウス現地指導(専門家による支援) 17 社</p> <p>④八幡平市DMO事業への参加協力</p> <p>目標に対する実績</p> <p>①商工会主催商談会開催 ・ファームエイド銀座 支援事業者 4 社 ・食の交流会 支援事業者 15 社 ・カイハウスビジネスフェア 支援事業者 5 社 ○都市圏販路開拓支援 延べ 14 事業者、催事数 9 件</p> <p>②新商品開発に係る支援 ・横浜高島屋、京王百貨店バイヤー等からの情報提供 2 回</p> <p>③フリーマガジン「ハチクラ」の発行 4 回 ・会報の発行 5 回</p> <p>④ITの活用 Facebook 版ハチクラ WEB の制作(情報発信機能と需要開拓機能の強化) 支援件数 17 事業所</p>	<p>A 支援効果あり A 支援効果あり</p> <p>C 目標回数 50% 県内景況調査結果の配布 市内商工業の景況調査は未実施</p> <p>A 目標回数達成 支援効果あり</p> <p>A 目標件数達成 支援効果あり</p> <p>C 目標回数に対し 50% 支援効果あり</p> <p>A 実施回数 100% 支援事業所 17 事業所 内販路拡大 12 事業所</p> <p>A 実施回数 100%</p> <p>A 実施回数 100%</p> <p>A 実施回数 100% 業者の商品をクローズアップし、ウェブを活用した通販と連動、需要開拓を支援 また、アンケートを通じて、利用状況を調べ需要開拓の成果を把握</p>
--	--	---	---

	<p>2. 地域経済の活性化に資する取り組み 目標2. 観光と物産振興に関する戦略立案と実行する仕組み作りの推進（連携の促進）</p> <p>(1) 滞在型観光・ブランド化等による観光振興と中心商店街の振興 (2) 観光イベントの効果的な開催のための連携の促進</p> <p>(具体的目標)</p> <table border="0"> <tr> <td>①観光イベント実施回数</td> <td>年 4回</td> </tr> <tr> <td>②滞在型観光推進委員会開催回数</td> <td>年 10回</td> </tr> <tr> <td>③商店街活性化推進委員会</td> <td>年 4回</td> </tr> <tr> <td>④連携団体等連絡調整会議</td> <td>年 6回</td> </tr> </table> <p>3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組</p> <p>(1) 他の機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること</p> <p>(2) 経営指導員等の資質向上等に関すること</p> <p>(3) 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</p>	①観光イベント実施回数	年 4回	②滞在型観光推進委員会開催回数	年 10回	③商店街活性化推進委員会	年 4回	④連携団体等連絡調整会議	年 6回	<p>○目標に対する実績</p> <p>①観光イベント実行委員会 4回 ・観光イベント…八幡平ふるさと花火まつり、IWATE ハチマンタイグナイト、八幡平山賊まつり、雪フェスタ 2019</p> <p>②滞在型観光推進委員会 市主催（観光審議会） 1回 DMO等主催 3回 ・外国人観光客受入セミナー 1人（八幡平市 8月30日） ・インバウンドおもてなしセミナー1人 （八幡平市 9月18日 11月21日）</p> <p>③大更商店街未来を創る会 2回</p> <p>④連携団体等連絡調整会議 輝振興連絡調整会議 3回</p> <p>○目標に対する実績</p> <p>①ビジネスアワードへの参加 3人（1回） ②全国連主催商工会職員資質向上研修会 延べ2人（2回） ③県連主催研修会への参加 延べ13人（6回） ④中小機構等研修への参加 延べ7人（4回）</p> <p>①事業評価委員会の開催 ②事業評価結果の公表</p>	<p>A</p> <p>C</p> <p>C</p> <p>C</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>実施回数目標達成</p> <p>目標回数に対し 60% 効果 八幡平市版DMO</p> <p>目標回数に対し 50%</p> <p>目標回数に対し 50%</p> <p>概ね達成 他の支援機関との積極的な交流実施（全国・県内商工会等）</p> <p>職員の資質向上のための研修会に積極的に参加効果あり</p>
①観光イベント実施回数	年 4回											
②滞在型観光推進委員会開催回数	年 10回											
③商店街活性化推進委員会	年 4回											
④連携団体等連絡調整会議	年 6回											